

対フィリピン国別開発協力方針

2018年4月

1. 対フィリピン開発協力のねらい

フィリピンは、海上交通路の要衝に位置し、地政学上重要な国であることに加え、民主主義や法の支配、自由市場経済といった我が国と基本的な価値観や戦略的利益を共有する。我が国は、フィリピンと極めて緊密な関係を築いており、2017年には、3回の首脳会談等を通じ、両国の「戦略的パートナーシップ」の更なる深化が図られた。

日本とフィリピンとの間では、2008年に経済連携協定が発効しており、2018年現在、1,400社を超える日系企業がフィリピンに進出し、フィリピンは、我が国にとって重要な経済活動の基盤となっている。両国間の人的交流は急速に拡大しており、少子高齢化が進む我が国と多くの若年人口を有するフィリピンとの間で相互補完的な協力関係が更に発展していくことが見込まれている。

また、フィリピンは、高い英語力を有する豊富な若年労働力を有し、高い経済成長のポテンシャルを持ち、1人当たりのGDPが3,000ドルを超えつつある¹。フィリピンが今後持続的、かつ包摂的な成長を続けていくためには、交通を中心としたインフラの整備、海外からの直接投資の促進を導く投資環境の改善、製造業等の産業の増強、所得格差の是正、社会保障・教育等の人的資本への投資、災害などのリスクに対して脆弱なインフラや行政を含む社会システムの高度化、ミンダナオにおける開発と持続的な平和の構築等に取り組む必要がある。

我が国が、我が国の強みを生かしつつ、これらの課題の解決に向けたフィリピンの取組を積極的に支援し、フィリピンの持続可能な開発目標（SDGs）の達成を支援し、包摂的かつ持続的な経済成長を下支えすることは、両国の「戦略的パートナーシップ」の更なる強化に繋がる。また、価値観を共有するフィリピンの安定的な発展は、インド太平洋地域における安定と平和にも繋がり、自由で開かれたインド太平洋の実現に貢献するものである。

2. 我が国の ODA の基本方針（大目標）：「包摂的な成長、強靱性を備えた高信頼社会及び競争力のある知識経済」の実現に向けた協力の実施

我が国は、我が国の強みを最大限生かしつつ、「フィリピン開発計画 2017－2022 年」が目標とする「包摂的な成長、高いレベルの相互信頼と強靱性を備えた社会、そして世界的に競争力のある知識経済を実現」に向けて、「今後5年間の二国間協力に関する日フィリピン共同声明（2017年10月）」の着実な実施を含めた経済協力を実施する。

3. 重点分野（中目標）

¹ 2017年10月のIMF統計によると、フィリピンの一人当たりのGDPは3,022米ドル。

(1)持続的経済成長のための基盤の強化

我が国は、持続的経済成長の達成に必要な基盤強化のため、大首都圏及び地方都市を中心とした交通網ネットワークを始めとした質の高いインフラの整備、治安・テロ対策や海上安全分野の強化等を通じた法執行能力強化、雇用の創出・人材育成を含む産業振興、エネルギー事情の改善、情報通信の改良、行政能力の向上等に対する協力を実施する。

(2)包摂的な成長のための人間の安全保障の確保

自然災害、上下水、廃棄物処理を含む環境問題、感染症等、特に貧困層への影響が大きい各種リスクに対する脆弱性の克服及び生活基盤の安定・強化を図る。また、包摂的で強靭性を備えた社会を構築するため、災害・環境問題に対応するためのハード・ソフト両面での社会インフラ整備、感染症対策を含むユニバーサル・ヘルス・カバレッジの達成、高付加価値化に向けた農業・農村開発、違法薬物対策等の社会課題解決等に対する協力を実施する。

(3)ミンダナオにおける平和と開発

ミンダナオにおける平和と安定を実現するため、紛争影響地域において J-BIRD (the Japan-Bangsamoro Initiative for Reconstruction and Development)として行ってきた取組を強化し、ガバナンス、公共サービス改善及びコミュニティ開発、経済開発への協力を実施する。また、2017年に武力衝突により壊滅的被害を受けたミンダナオ島マラウィ市及びその周辺地域の復旧・復興をはじめとし、ミンダナオの紛争やテロ及び暴力的過激主義に対する強靭な社会造りに資する協力を実施する。

4. 留意事項

(1) ミンダナオ地域においては、流動的な治安情勢が続いており、危険情報レベル3（渡航中止勧告）発出地域も含まれるところ、安全性に十分留意して協力活動の実施地域を検討する。

(2) 開発協力の有効性を高めるため、フィリピン政府と十分な協議を行い、各事業間の連携を強化する。

(3) 開発協力に際しては、有償・無償・技術協力支援を有機的に組み合わせ、開発効果の向上を図る。

(了)

別紙：事業展開計画